

# ホワイエ Foyer イエ

New Union of Architects & Engineers

Tokyo 624

2024. 4



2024年4月1日（毎月1日発行）定価200円 通巻624号第54巻第4号 発行/新建築家技術者集団東京支部幹事会  
発行人 / 杉山昇 〒162-0811 東京都新宿区水道町2-8長島ビル2F tel.03-3260-9810 fax.9811 郵便振替東京3-19465  
URL <http://www.ne.jp/asahi/shinken/tokyo/tokyo/tokyo> E-mail [shinken-tokyo@group.email.ne.jp](mailto:shinken-tokyo@group.email.ne.jp)

03 変わりゆくまち中野、サンプラザがなくなる	石原重治
04 地球温暖化を考える 第43回	渡辺政利
05 能登半島地震 先発隊視察報告会	山下千佳
06 守ろう！私たちの大山「大山問題住民デモ」	千代崎一夫
07 会員通信 いろいろなスタイルで思いを伝えたい	山下千佳
08 鋸屋根に魅せられて	吉田敬子
10 アジアンニュース No.15	T N

**今月の表紙** 写真：山下千佳  
 3/30 設計協同フォーラム「暮らし・健やか・住まい講座」を開催しました。10時から17時まで連続の講座でした。昼食は非常食の試食をしました。設立30年、小さい事務所でも集まっているからできることがたくさんあります。

## Event Information

◎は新建主催行事 ◆は会員及び交流団体の行事

### 東京支部

- ◎04/09 火 18:30 第2回常任幹事会 @新建事務所
- ◎04/10 水 18:30 秩父宮ラグビー場と神宮球場の現在地での再生提案発表会 @東京労働会館 7F ラパスホール
- ◎05/07 火 18:30 支部常任幹事会
- ◎05/11 土 13:30 支部幹事会
- ◎06/08 土 17:00 三浦史郎さんを偲ぶ会

### 全国

- ◎04/05 金 19:00 「縮退社会の建築とまちづくり」意見交換会 @ZOOM
- ◎04/07 日 10:00 第12回子ども環境研究会 栗原知子さん @ZOOM
- ◎04/15 月 19:00 「環境と建築」－地球環境の危機－金田正夫さん @ZOOM
- ◎04/20 土 10:00 全国幹事会 @ZOOM

### 会員及び交流団体

- ◆07/27 土 10:00 設計協同フォーラム「マンションフェア」 @板橋区立グリーンホール 2階



★「会員通信」がスタートしました！皆さまから身近な活動やふと思ったことなどお気軽に寄稿ください！！

★各地でのイベントや行事情報、ホワイエの原稿も随時募集しています。

下記アドレスまで原稿をお寄せください！ [foyer@shinken-tokyo.orgp.emai.ne.jp](mailto:foyer@shinken-tokyo.orgp.emai.ne.jp)

### 「三浦史郎さんを偲ぶ会」のご案内

○日時 6月8日(土)

○会場 主婦会館プラザエフ すずらん (JR「四ツ谷」駅から徒歩1分)

○時間 17時から20時 (受付開始 16時半) ○会費 5千円

出席の連絡は4月15日(月)までにメール [zo-3@jade.dti.ne.jp](mailto:zo-3@jade.dti.ne.jp) にて

会場の広さの関係で、メ切以降の表明の場合は、参加ができない可能性があります。

三浦史郎さんを偲ぶ会 実行委員会 委員長 安達一八

## 変わりゆくまち中野、サンプラザがなくなる

東京支部（東京問題研究会）石原重治

今回は、前回に続いて、なかの生涯学習大学主催、中野ブロードウェイや JR 中野駅周辺の再開発事業などを題材にした「変わりゆくまち、これからのまち」の特別講座に沿って、中野のイメージがひっくり返りそうな都市再開発の現状を報告する。

### ○中野の地名とお囲いの話し

- ・「中野」と言う地名は、古くから東京の西郊一帯は、武蔵野と呼ばれていたが、この武蔵野のちょうど「中央」という意味から生まれたともいわれる。
- ・中野区役所庁舎の一帯は、かつて「囲（かこい）町」と呼ばれ、徳川五代将軍綱吉の時代に犬小屋があったので、玄関前には、そこで暮らしていたであろう犬たちの像が鎮座している。お囲いは、その犬小屋に由来する地名で、中野二丁目から杉並区高円寺あたりまで、総面積 30 万坪という広大な規模だったという。

### ○ふるき良き中野は、都市再開発のうず巻きに巻き込まれている

中野駅周辺まちづくり（都市再開発）は、警察大学校等跡地再開発（2012/H24 年完成、四季の都市：業務ビル、大学施設、四季の森公園・セントラルパークなど）を第一段階とすると、第二段階は、中野駅南側での東京都住宅供給公社の中野駅前プロジェクトから始まった。これは、中層 4 階建て賃貸共同住宅（7 棟 248 戸）を、鉄筋コンクリート造 14 階建 203 戸のコーシャハイム中野フロントとして、再開発事業に先駆けて居住者移転用として、準備しておくもので、2019(R1)年 5 月に完成している。

そして、公社住宅跡地を中心とした第一種市街地再開発事業は、2020(R2)年から始まり、20 階建てオフィス棟と 37 階建て 400 戸の賃貸共同住宅棟が 2024(R6)年春に完成し、一部の店舗では営業が始まっている。

これからの大きな山場は、2024 年 5 月 7 日（木）、中野区役所の業務が新庁舎で開始され、旧庁舎とすでに 2023 年 7 月で営業が終わった東側の離接の中野サンプラザが取り壊しになる第三段階となる。区役所と中野サンプラザの跡地には、7000 人収容の多目的屋内施設（アリーナ）、下層階が商業施設、上層階が共同住宅や事務所等からなる高さ 260 メートルを超える超高層ビルなどが出現する予定である。

### ○すすめる側の言い分、失望の声も

中野駅周辺まちづくりをすすめる側（中野区基本構想など）は「33 万人を超える区民が暮らし、商業や文化などの活動を通じて、多くの人々が集い、交流する多様な機能が調和するまち、中野」をめざし「中野駅周辺のまちづくりの進展など、今後の 10 年間は、新たな中野の未来を創る大きなチャンスの時期です」と位置付けている。

こうした中野駅周辺再開発を「百年に一度のまちづくり」と歓迎する声もあるが、サンプラザが取り壊され中野のシンボルが失われ、どこにでもある超高層ビルのまちに造りかえられることに失望している人も少なくない。

### ○これからの課題、他にやることがあるのでは？

資材価格や人件費の高騰で、建設費が 250 億円増加するとか、また、中野区は総事業費の 2 割、430 億円の補助金を見込んでいるが、増額を求められるのではないか？「公」として、ハコモノではなく、他にやることがあるのでは？いろいろな議論が出て、問題が噴出してきそうである。

\*中野の地名とお囲いの話し：S560315 中野区教育委員会発行「なかのの地名とその伝承」より



## 地震と原子力発電所の災害

日本政府は地球温暖化対策として新規含む既存火力発電所の稼働をそのまま進めながら、CO<sub>2</sub>を排出しないクリーン電源と称して原子力発電を再生可能エネルギーによる発電と並べて進めようとしています。しかし、今年1月1日に発生した能登半島地震により、能登半島西端に位置する志賀原発が活断層の直近に存在し、もしかすると以前から疑われているように活断層の上に造られているのではないかとの懸念が明らかとなりました。

前回の繰り返しになりますが、今回の能登半島地震で「原子力災害対策指針」で定める避難計画は全く意味をなさないことが明らかになりました。「原子力災害対策指針」では事故発生の際から5キロ以内の住民は早急にそれより遠くへ避難し、5キロから30キロ以内の住民は一度家屋など屋内に避難し、状況によってはさらに外部へ逃げることを定めていますが、多くの家屋が倒壊・半壊などの被害が発生し、志賀原発周辺では志賀町だけでも倒壊した家屋は多く、その後の建物危険判定で「危険」とされ家屋などが40%を超えたとされます。これでは屋内への一時避難はとて叶いません。こうした避難・救助のための道路も道路自体の崩壊や周辺の山崩れなどで寸断され避難は到底出来ませんでした。



志賀原発周辺道路の閉鎖状況(東京新聞3月11日)

こうした事態であっても、原子力規制委員会の山中伸介委員長は「原子力災害対策指針」について「見直さなければならないことはない」と1月末の定例記者会見で発言し、その後、原子力規制委員会の仕事は原子力施設の問題に限定され、

避難路の問題は地方自治体が責任を負っていると語ったことが報道されています。こうした認識は、原子力規制委員会が何はともあれ原子力発電の継続を目指す組織である姿を浮き彫りにしますが、このことによっても「原子力災害対策指針」の前提が全くの空想の産物であって、原子力災害に対して住民の安全に責任を負っていないことを物語っています。原子力発電所が大規模な地震などによって大事故を起こして住民避難が切実になってもそのことに対する責任の所在は、どこにもないということになります。

こうした国民の不安・懸念が広がる3月27日、原子力規制委員会は「原子力災害対策指針」の見直しに向けた検討チームを設置したという報道があり、4月に初会合が開かれるとされます。しかし、3月28日付けの東京新聞によれば山中伸介原子力規制委員長は「現行の指針に問題は無い」として、屋内避難を前提にその期間や範囲について議論するだけとなるようです。

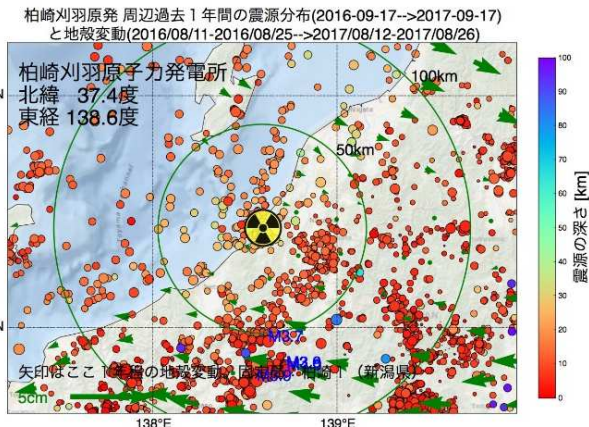
## 志賀原発の地盤移動

能登半島地震による志賀原発敷地への影響について北陸電力が3月25日、測定の結果地震前と比べて平均4センチの沈下と、敷地全体が西南西に平均12センチ移動したことを明らかにしたとの報道があります。能登半島地震では半島北側沿岸一帯が隆起し、輪島市では最大4メートル隆起しました。また北部海岸一帯を大きく揺らした地震とは別に志賀原発周辺で震度7の地震を発生させた活断層は原発から9キロ北側に存在しており、能登半島は複雑な地盤で構成されている事が分かります。志賀原発では敷地内の地面に生じた段差や割れを約80カ所を確認。ほとんどが盛り土・埋め土の場所で「敷地内の断層が動いた形跡はない」と東電の担当者は話していると報道されています。原発敷地の沈下や横移動によって強固な地盤(おそらく岩盤)に支持されているはずの原発も支持地盤と共に沈下・移動したのか、そうではなくて、原発周辺の柔らかい地面だけがずれたのかは報道された内容だけでは不明です。いずれにしろ、原発設置の敷地が地震によって動いたなどという話は、原発の安全にとって許容できる事態ではありません。この事実ひとつをとっても志賀原発の存在自体が全く認められないことですが、この間の志賀原発に関する一連の出来事によって地震国日本の主要な電源のひとつとして原子力発電が

不適當であることが誰の目にも明らかになったと言えます。

## 柏崎刈羽原発の再稼働を急ぐ東電・政府

こうした国民の記憶が生々しいこの時期に関わらず、政府は柏崎刈羽原発の再稼働に向けた積極的な動きを開始しました。この原発は、ひとりの係員が他人のキーにより原発内に入場したほか、テロ対策への不備が相次ぎ原子力規制委員会から核燃料の移動を禁止され、それによって事実上稼働が禁止されており最近解除されたばかりです。



柏崎刈羽原発の位置と地震分布 (ウィキペディア)より

東京新聞の報道によれば斎藤健経済産業相が3月19日、東京電力柏崎刈羽原発(新潟県)の再稼働への同意を花角(はなずみ)英世知事に要請したとされます。3月21日には経産省幹部を柏崎刈羽原発の存在する新潟県や柏崎市、刈羽村に派遣しました。柏崎市や刈羽村では議会が再稼働要請の決議を既に行っており、柏崎市の桜井雅浩市長は「国として強い意志を持って再稼働施策を進めて欲しい」と激励したようです。

しかし、花角新潟県知事は慎重姿勢を取って再稼働に同意していません。知事は能登半島地震により志賀原周辺道路の多くが閉鎖され通行不能になったことにより、新潟県民の間でも原発事故後の避難への不安・警戒が広がっていることを無視できないとされます。

柏崎刈羽原発は東京電力が経営する原子力発電所ですが、その東京電力は3.11東北大地震による福島第一原発事故の収束で事実上「国有化」されており、政府が「電力供給や経営再建に必要な」として、原子力規制委員会の審査に適合した柏崎刈羽6、7号機の再稼働を急ぐ(東京新聞3月20日)と報道されています。電力が安定的に供給されることは絶対的に必要ですが、それが安易に火力発電依存や原子力発電強化につながることは容認できません。太陽光や風力など自然エネルギー由来の電力への切り替えは、地球温暖化が急速に進む現在、将来の国民あるいは人類への現代人の責任とも言えます。

その後東電は、「再稼働を目指す柏崎刈羽原発7号機(新潟県)について、4月15日に原子炉内に核燃料を装填すると原子力規制委員会に申請」(東京新聞3月29日)。新潟県の同意を待たずに7号機への核燃料充填を行うことを決めたとされます。

能登半島地震では柏崎刈羽原発に被害はなかったとされていますが、「柏崎刈羽原発の直下には多くの活断層があり、2007年の中越沖地震で3,000カ所以上の故障を起こした傷だらけの危険な原発」として地元住民が稼働反対運動を進めているとの報道(しんぶん赤旗)があるようです。

(つづく)

## 能登半島地震 先発隊視察報告会

3月25日(月)オンラインで「能登半島地震復興支援・先発隊視察報告会・先発隊視察報告会」を開催しました。視察は3月6日から7日で、石川支部の杉山真さんと、群馬支部の新井隆夫さん、丸谷博男さん、千代崎一夫さん、山下千佳で行きました。

報告は、支援本部長の丸谷さんがおこないました。参加者は81名でした。申込みは95名 会員は北海道1、福岡5、富山4、奈良1、群馬1、愛知1、岩手1、京都3、埼玉1、神奈川5、千葉1、東京13、賛助会員1 会員外の方は、56人で、いろいろな地域からの参加がありました。

丸谷さんは被災地の報告だけでなく、能登地域の歴史や東日本大震災の教訓や内閣府の資料なども交えて、160枚を超すプレゼンで紹介し、内容が盛りだくさんになりました。

下水道の復旧の遅れ、過酷な避難所、自治体職員の不足など、過去の災害の経験が生かされていないことも、あらためて浮き彫りになりました。 能登半島地震復興支援本部 山下千佳

### ★★★緊急アピール★★★

被災者主体の復興の道をめざして一国交省直轄調査による「計画策定支援」への懸念一が18名の呼びかけで公表されました。詳しくは 新建全国ホームページを参照してください。

<https://nu-ae.com/240404-appeal/>



守ろう! 私たちの大山「大山問題住民デモ」 ここでも都民は声を上げています !!

千代崎一夫／東京支部代表幹事

4月7日(日)10時~12時、守ろう! 私たちの大山「大山問題住民デモ」第2弾が開催されました。昨年の11月26日の第1弾は220人の参加、今日はそれを上回る人が集まりました。

都道補助26号線を無理やり通すために大山ハッピーロードを分断する計画です。先に日本一と言われるハッピーロードのアーケードを壊そうとしています。商店街にあるコモディイダの社長さんが運動の先頭に立っています。

4月から強行されるアーケード解体を止めるために、3月22日「解体工事禁止仮処分命令申立書」を東京地方裁判所に提出し、受理されたとの発表があり、一緒に闘おうと訴えました。

第2回目のデモは10時30分から「ハッピーロード」から「遊座」を抜けて区役所脇の四つ又公園までがコースで板橋有数の商店街です。

26号線を通さない裁判の原告の一人です。道路が通ってしまうと踏切を減らそうという国の施策とは反対の方向に進んでしまいます。

行政はそこも狙ってきて高架化が必要だといっています。しかし高架になると低くても4階建て程度連続した建物ができたのと同じ影響を与えるようになります。今の計画では東上線の付近では一番高い部分を高架化しようとしています。「大山駅」駅前もさらなる開発によって「駅前広場」と称する「自動車用ロータリー」をつくろうとしています。板橋の駅は全て「広場」はありません。残念ですが、全部「自動車用ロータリー」です。モット潤いのある本当の広場こそ欲しいものです。

私は東武東上線を地下化すべきと思っています。板橋区内の駅も全てを地下化して、そこを駅広場にしましょう。JRの板橋駅、東上線の成増、下赤塚、東武練馬、上板橋、常盤台、中板橋、大山、下板橋、北池袋の各駅が駅と駅前ロータリーを考えたらとても素敵です。

\*ハッピーロード大山商店街は1978年(昭和53年)に板橋区随一のアーケード商店街として誕生しました。東武東上線「大山駅」から川越街道に通じる商店街です。「ハッピーロード大山」という名前は、お客様からの公募により名付けられた。キャッチフレーズは「幸せにつづなが〜い屋根」





いろいろなスタイルで  
思いを伝えたい

山下千佳



## 神宮外苑の緑や施設、空間を守りたい

3月2日に板橋区立グリーンホールで「祝10周年-板橋区フルート講座受講生の第7回演奏交流会」を開催しました。33曲、77人が演奏をして楽しみ、100人を超す方が集まりました。

私は8年前に初めてソロで演奏した「春よ、来い」を、今回は一緒に歩みお世話になった先生とアンサンブルで演奏しました。

それと昨年3月に亡くなった坂本龍一さんを偲んで、神宮外苑再開発に反対する活動をスライドで紹介しながら「戦場のメリークリスマスより Merry Christmas Mr. Lawrence」を外苑の状況を訴えて、披露しました。

昨年12月22日「imaginepeace 音楽のつどい」と2回目の演奏で、前回よりはちょっと落ち着いてできました。その時はサザンオールスターズの桑田佳祐さん作詞作曲の「Relay～杜の詩」も演奏しました。どちらの曲もピアノ伴奏で盛り上げてもらえて幸せでした。

「地球が病んで 未来が憂う時代、身近な場所で何が起きているんだ？ Oh wanna talk together」仕事・語りあい、音楽や文化も楽しんで「明日を夢見れる」ように活動したいです。



## 月の出を待ちながら坂本龍一さんを偲ぶ

3月28日坂本さんの命日「月の出を待ちながら坂本龍一さんを偲ぶ」が神宮外苑絵画館前広場のユニコーン像前で20時～21時頃、月の出20時53分という集まりに行ってきました。残念ながら月の出はなく、小雨決行でした。

朝から雨という予報でしたので、集まった人は少なかったのですが、この中で足を運ぶ方の根性のようなものが見えました。集会では昨年3月25日に坂本龍一さんが出されたメッセージが読み上げられました。私たちは4月10日の再生提案発表のチラシを配布し、千代崎さんが訴えをしました。すでに申し込んでいる方やチラシをくださいと声をかけてくださる方がいて、雨の中でも参加して良かったです。NHKの取材がありました。





# 鋸屋根に魅せられて

兵庫県多可郡多可町八千代区 写真家 吉田敬子

兵庫県多可郡多可町は、加美区、中区、八千代区の3区から成り立っています。加美区岩座神集落には、日本の棚田百選のひとつであり、全国でも数少ない石垣のある棚田が残っています。中区は日本一の酒米「山田錦」発祥のまちです。生産に取り組む農家は多く、収穫された山田錦は全国各地の蔵元へと出荷されています。平成18年に地方自治体として初めて「日本酒で乾杯のまち」を宣言しました。ご存じですか？八千代区は「敬老の日」発祥の町です。戦後の動乱期、初めて村主催の敬老会を開催し、長い間社会に貢献されたきたお年寄りに敬意を表すとともに、知識や人生経験を伝授してもらう場を設けました。そして、9月15日を「としよりの日」と定め、昭和41年「敬老の日」として国民の祝日に加えられました。この歴史を知ると多可町は、自然を愛し、人にやさしく年寄りを敬う。そんなまちの、鋸屋根工場で開催される「多可・播州織のふるさと写真展～のこぎり屋根と女工さんたちが見た風景～」を訪ねてきました。愛知県の友人と一宮駅で待ち合わせて、車で出発。一宮ICより高速道路で約4時間、距離は約250キロでした。中国自動車・加西ICを出るとのどかな田園風景が続き、癒されながら目的地に向かいました。

会場に使用した、3連木造鋸屋根（旧古来悟織物工場）2017年撮影





隣接する丹波地方を通じて古くから京都との関係が深く、西陣織の織物技術導入の要因となりました。また加古川、杉原川、野間川の豊かな水量と水質が染色に適した軟水に恵まれ、温暖な気候で綿花の栽培もできたため、先染綿織物「播州織」が発展し明治初期には多可郡を中心に60～70件位の綿布業者があったそうです。明治後期から、力織機普及により急速に生産力が向上し、工場で働く労働力が必要になりました。大正時代には鉄道が開通し、地方から多くの従業員が都心部へと働きにでるようになり「播州織」の名が全国的に広まりました。昭和に入ると生産量が増大し業者数270件、機械台数8,300台を数えるほどになりそれに伴って四国や九州、沖縄などからも女子労働者を多数募集し多いときには年間3,000人もの女工さんが西脇・多可の織物工場にやって来るほどの集団就職先として知られていました。女工さんたちが遠く離れた故郷に思いを馳せつつ各地に点在していたノコギリ屋根の下で汗を流していた姿が想像できます。こうした女工さんたちや経営者の努力があり、戦争や景気の浮き沈みなどの苦難ある時代を切り抜けながら、播州織は引き継がれてきました。今回訪ねた「多可・播州織のふるさと写真展～のこぎり屋根と女工さんたちが見た風景～」は多可町の財産として伝承されました。地元で頑張る若手職人さんの熱い話も聞きました。訪ねてから7年の時が流れ、知り合った若手職人さんに連絡をすると「私たちは元気で新しい播州織を仲間と織っています。吉田さんが気にしていた鋸屋根は、昨年解体されました。」残念ですが、私は写真に収め伝承できました。また伺います。



写真説明：上より①八千代区風景  
②八千代区の鋸屋根③会場：鋸屋根  
④内部：播州織のふるさと写真展



## ベトナムの旧正月

ベトナムでは旧正月のことを“テト(Tết)”と呼びます。中国の春節と同様に、ベトナムでは旧暦で新年をお祝いします。日本人にはあまり馴染みのない旧暦のお正月について今回はご紹介させていただきます。

2024年は2月9日(金)が大晦日、そこで**2024年は2月10日(土)が「テト」**。2024年のテト休暇は**2024年2月8日(木)~2月14日(水)の7日間!**

日本人が正月に実家に帰省するように、ベトナム人はテトは家族で過ごします。そのため、日本の大型連休前のようにテト前は帰省ラッシュに!最近では帰省だけではなく長期休暇を利用して遠方に旅行する人も増えてきました。

テトの約1ヶ月前から市場やスーパー、街中などでお正月の装飾品や贈り物、お年玉袋、ベトナム北部では桃の花、桃の花が咲かない気候の南部・中部は黄色い梅の花や金柑の木が売られ始めます。

桃の花は魔除けになるとされており、黄色い梅の花は金運アップ、金柑の木は黄色の実がたくさん生ることから子孫繁栄や金運アップを意味しているのです。

大晦日までに家を大掃除し、新年を迎えるのは日本と同じ。

テト期間中は、道端でよく獅子舞や龍舞の団を目にします。獅子舞や龍舞は、繁栄や富を願うものとされています。

テトにはバインチュン(Bánh chưng、地方によっては筒状のバインテツ・Bánh Tét。中身はバインチュンと殆ど同じ)と呼ばれる青豆を潰したものや豚肉などをもち米で挟み、バナナやココナッツの葉っぱに包んで蒸す料理が代表的です。



ベトナム語で“あけましておめでとう”は「Chúc mừng năm mới(チュックムンナムーイ)」です。

お年玉袋を始め、テトの装飾や贈り物にも書かれていることが多いです。

(以下に VIETJO 記事から、旧正月にちなんだ今年的话题を取り上げてみます。)

—\*

### 特集 テト名物、家族で70年作り続ける生姜の砂糖漬け 2024/01/28 10:16 JST 配信

東南部地方ビンズオン省トゥアンアン市フンディン街区在住のチャン・トゥエット・フォンさん(女性・50歳)はこのところ、テト(旧正月)用に販売する生姜の砂糖漬け作りに大忙しだ。フォンさんの家族は、70年もの間、生姜の砂糖漬けを作り続けている。

ビンズオン省では、トゥアンアン市のビンニャム街区とフンディン街区の周辺に、約100年もの伝統を有する生姜の砂糖漬けの伝統工芸村が集まっている。



「父方の祖母は生涯、生姜の砂糖漬けを作り続けていました。このあたりではもう、数軒しか作っていません」と、フォンさんは乾燥させる生姜を運びながら話す。

ビンズオン省の生姜の砂糖漬けの特徴は、他の地域のように生姜を薄くスライスするのではなく、原形を保ったまま白砂糖をまぶすという点だ。今年のテトに、フォンさん一家は前年よりも100kg少ない、300kg分の生姜の砂糖漬けを作るという。

「きっと経済的に厳しいご時世だから、テトの買い物も減っているんでしょうね。他のところと比べたら、うちはまだ多く作っている

ほうですよ」とフォンさんは語る。

テト用の砂糖漬けのシーズンは、旧暦9月から始まる。この伝統工芸村の各世帯では、辛みと香りが強い、南中部高原地方ダクラク省から仕入れた生姜のみを使う。生姜は手のひらほど大きく、食べたときに繊維っぽくならないよう、寝かせすぎない新鮮なうちに加工する。

生姜は皮をむき、きれいに洗う。平均して1人あたり1日に約5kgの生姜の皮をむく。それから生姜をトレイに並べて、針のついた機械で押しつぶす。

フォンさんの夫であるリー・ホアン・バンさんは、自作の針のついた機械に生姜を並べたトレイを乗せ、生姜を押しつぶす。この機械で1日に約20kgの生姜を処理することができ、この作業をすることで、生姜が柔らかくなり、風味がより均一になる。

「今年は機械を導入したので、やっと手作業ではなくなりました。生産性は以前の4倍に向上しました」とバンさんは話す。





押しつぶした生姜は水に浸してから、4日間天日干しする。その後、辛みがなくなるまで煮て、冷水ですすいで砂糖をまぶし、さらに数日間乾燥させる。水に浸している間にライムを絞ると、生姜がより柔らかくなり、透明感も増す。

砂糖をまぶした生姜を乾燥させる間は、ハエやハチ、アリなどの虫が寄ってこないように蚊帳で守る。1週間ほど乾燥させたら、50kg分入る大きなバケツに移し、テトが近づくまで保管しておく。

そして、テトの20日くらい前になったら取り出し、砂糖水で10~15分ほど煮る。砂糖水で煮る作業は、生姜が焦げることなく明るい黄色になるように、絶えずかき混ぜなければならない。最後に、白砂糖をまぶしてパックに詰めれば完成だ。だいたい、1kgの生姜を加工すると、完成時には800gほどになる。

生姜は下処理をしてから水に浸し、煮て、乾燥させるという工程を経ることで、最後の工程に着手するまでに1年間は保管できるという。すべての作業は、配達に間に合うように旧暦12月15日までに終える。

生姜の砂糖漬けは、美しい黄褐色であること、生姜の元の形が崩れすぎでないこと、柔らかく、わずかな辛みと特徴的な香りがあることがポイントになる。500g入りの1パックの卸売価格は6万VND(約360円)で、4~5か月は保存できる。

—\*

## 特集 SNSでテトのバイク帰省仲間探し、同郷たちと愛する故郷へ 2024/02/04 10:26 JST 配信

旧暦12月の半ば、南中部高原地方ザライ省出身の会社のビック・ゴックさん(女性)は、昼休みを利用してテト(旧正月)前の旧暦12月27日にバイクと一緒に故郷へ帰るグループへの参加を申し込んだ。

ゴックさんは、バイクでの400kmの旅は決して快適ではないとわかっているが、他に選択肢はなかった。「ホーチミン市からザライ省まで長距離バスで帰るとなると、いつもの2倍の50万~60万VND(約3000~3600円)はかかり、さらにバイクの駐車料も70万VND(約4200円)以上の出費になってしまいます。これだけで、テトに使うお金の5分の1が飛んで行ってしまふんです」とゴックさんは語る。

そして、皆で約束した日に30~50人のグループで、道案内チームとトラブルサポートチームとともに、故郷へ向けて出発する。「私は女性で1人旅でもあるので、グループに参加することで安全に帰省することができます」とゴックさん。

2024年のテトは、ゴックさんにとって2回目のバイク帰省となる。

ザライ省出身の工場労働者であるルオン・バン・トゥさん(男性・26歳)は、この4年間、同郷の仲間とバイクと一緒に帰省している。トゥさんは乗り物に酔いやすく、テトのぎゅうぎゅう詰めのバスに乗るのを避けるため、バイクで帰省しているという。「バイクで帰れば、途中で休憩したり食べたり飲んだり、時間も自由ですから」とトゥさん。

トゥさんがバイクで帰省するもう1つの理由は、仕事の都合でテト休みが直前までわからないため、休みがわかった時点ですでにバスの運賃が高くなっていたり、もしくは売り切れてしまっていたりするからだ。そのため、2019年末から「バイク帰省」のグループに参加し、同郷の帰省仲間を探している。

トゥさんもゴックさんも、メンバー数が3000人にも上るSNSの「ザライ省バイク帰省の会」に参加している。VNエクスプレス(VnExpress)の調べによれば、SNSにはこのようにバイク帰省仲間を募るグループが20件以上存在し、それぞれメンバー数は3000~2万2000人にも及ぶ。その多くはホーチミン市を出発して、南中部高原地方や南中部沿岸地方、東南部地方に帰省する人々だという。

「ザライ省バイク帰省の会」を立ち上げたバオ・トゥエンさん(男性)によると、こうしたグループのメンバーは主に学生や工場労働者、小さい子供がいる家庭、または50歳以上の労働者などだという。「グループは、慈善団体やバックパッカーのグループではなく、ボランティア精神と相互扶助のもとで活動しています」とトゥエンさん。

各グループは、日によって40~120台のバイクで移動し、特に旧暦12月27日と28日の帰省が最も多い。グループはホーチミン市の集合場所を出発し、東南部地方ビンズオン省、同ビンフオック省、南中部高原地方ダクノン省、同ダクラク省を経由して、ザライ省に向かう。移動距離は400kmで、所要時間は交通状況にもよるが12~14時間ほどだ。

「ダクラク省バイク帰省の会」の管理人のポー・チャム・ラムさん(男性・31歳)によると、バイクで帰省するメンバーの40%は、様々な事情で長距離バスのチケットが購入できない人々だという。

ラムさんは、1月の初めから2024年のテトの帰省仲間を募り始めた。旧暦12月20日から29日にかけて、9回の旅が予定されており、一緒に帰省する延べ人数は1000人余りに上るといふ。帰省グループの主催側は、参加者の氏名や年齢、自宅の住所などの情報を集め、必要な人にはバイクの手配も行う。

ラムさんのグループには約200人のボランティアメンバーがおり、ボランティアメンバーがサポートチームとして各日の旅程に散らばって参加する。グループは原則として1列になって、時速60km以下、人口密集地域では時速40km以下で走行する。一緒に帰省するバイクの台数は30~50台、旧暦12月27日以降は100台以上になる。参加メンバーは速度を守り、道案内チームより先を走ってはならない。

ベトナム国家大学ホーチミン市校人文社会科学大学の社会学講師であるブイ・ティ・ミン・ハー氏によると、ホーチミン市やハノイ市などの大都市で働く労働者がバイクで帰省する現象は、様々な理由からますます一般的になりつつある。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行中、大都市では公共交通機関の運行が限られ、多くの人々がバイクで帰省せざるを得なかった。収束後には、労働者は不景気や収入の激減、もしくは失業に直面し、長距離バスのチケットを含めて、出費を最大限に抑えることを余儀なくされている。

また、ハー氏によれば、特に20~30代の若者がバイクで帰省することを選択している。こうした若者たちは、長距離移動でも身体は元気がいっぱい、年末の「旅行」として、テトの帰省に観光も兼ねるのだという。

ホーチミン市の大学に通うニュー・クインさん(19歳)は、長距離バスのチケットを買うことができないというわけではないものの、過去6回はバイクでの帰省を選んでいる。「帰省の道中に、冷たい空気と美しい景色を体験するのが好きなんです」とクインさん。唯一の問題といえば、バイクで帰省すると実家に持ち帰るテトの贈り物が詰め切れないため、別途事前に長距離バスで荷物だけ送らなければならないことくらいだという。



住む人・使う人の立場で、  
住まいづくり、まちづくりを  
すすめています。



共同建替え「アリア鳩ヶ谷」

〒124-0001  
東京都葛飾区小菅4-22-15  
TEL : 03-3601-6841  
FAX : 03-3601-6944  
E-mail : zo-3@jade.dti.ne.jp  
http://www.zo-3.info

株式会社 **象地域設計**

#### 新建築家技術者集団 憲章

建築とまちづくりにたずさわる私たちは、国土を荒廃から守り、かつ環境破壊を許さず、人びとのねがう豊かな生活環境と高い文化を創造する目的をもつ。

私たちはこのことを認識し、行動するための目標をかかげ、ここに憲章を定める。

- 1 建築とまちづくりを、社会とのつながりの中でとらえよう。
- 2 地域に根ざした建築とまちづくりを、住む人使う人と協同してすすめよう。
- 3 建築とまちづくりの優れた伝統を継承し、理論や技術の発展と創造につとめよう。
- 4 人びとに支持される建築とまちづくりの活動をすすめ、専門性を確立しよう。
- 5 建築とまちづくりに関連する国内外の広い分野の人びととの交流をはかり、連帯を強めよう。
- 6 建築とまちづくり、生活と文化、自由のために平和を守ろう。

**住**み続けられる



株式会社  
**まちづくり研究所**

〒150-0013  
東京都渋谷区恵比寿 1-13-6 第二伊藤ビル 503  
TEL : 03-5423-3470 FAX : 03-5423-3479

住む人に、環境に、優しく・・・  
さらに美しさをお届けする

## ルナファーマー

五感で味わう心地よい空間・・・

ルナファーマーは、環境保護先進国「ドイツ」で広く普及している塗装下地壁紙。通気性や透湿に優れ、結露やカビの発生を抑えます。紙のパターンと塗装色の組み合わせで、お部屋の演出は思いのまま。模様替えやメンテナンスもそのまま塗り重ねるだけでOK。(10回程度可能) 廃材もほとんど出ないので、環境に優しい材料です。



(輸入元)日本ルナファーマー(株)  
東京都港区南青山2-9-3  
青山JPビル 2階  
TEL 03-5785-2750  
(施工店)(有)ルナファーマー・テクノ  
東京都港区高輪4-23-6  
TEL 03-5792-5819

# 新協建設工業株式会社

## 平和であればこそ建築はよろこび

本社 台東区台東2-25-10  
東東京支店 江戸川区篠崎町3-1-3  
台東支店 (台東)台東区台東2-25-10  
西東京支店 (多摩)日野市神明4-22-13  
大阪支店 堺市寺地町東4-2-11  
石川支店 金沢市法光寺町207-4  
広島支店 広島市安佐南区相田6-1-7

TEL03-3836-2011 FAX03-3837-8450  
TEL03-3678-7471 FAX03-3678-7472  
TEL03-3836-2017 FAX03-3835-7380  
TEL042-584-7508 FAX042-584-7581  
TEL072-229-2873 FAX072-229-2874  
TEL076-257-2535 FAX076-257-2570  
TEL082-872-1727 FAX082-872-1728